

DIGITAL VIDEO RECORDER XDR シリーズ 防犯カメラ用デジタルビデオレコーダー

簡易ユーザーズマニュアル

Ver1.2

サイバーセキュリティに関する推奨事項	1
安全にお使いになる為に	3
安全上のご注意	3
録画機 簡易操作マニュアル	6
DMSS 簡易操作マニュアル	10
SmartPSS 簡易操作マニュアル	13



簡易取扱説明書

DIGITAL VIDEO RECORDER XDR シリーズ

この度は弊社のデジタルビデオレコーダーXDR シリーズをご利用いただき、まことにありがとうございます。このユーザーズマニュアル (以下「マニュアル」という)は、簡易的なデジタルレコーダー(以下「デバイス」という)の機能と操作を紹介しています。

【シリーズモデル】

XDR0412/XDR0824/XDR1624P

サイバーセキュリティに関する推奨事項

【サイバーセキュリティ対策としてのお願い】

1. 初期パスワードの変更

システムが「ハッキング」される最大の原因は、セキュリティ性の弱いパスワードの使用若しくは初期設置のパスワードの継続使用となっております。初期設定のパスワードはすぐに変更し、可能な限り強力なパスワードを選択することをお勧めします。強力なパスワードは、少なくとも8文字と、特殊文字(:?、*/¥等)数字、大文字と小文字の組み合わせで構成する必要があります。

2. ファームウェアの更新

デバイスのファームウェアが常に最新の状態に保てる様、確認することをお勧めします。

【ネットワークセキュリティ強化をするための推奨事項】

1. パスワードの定期的な変更

デバイスの認証パスワードを定期的に変更し、承認されたユーザーのみがシステムにアクセスできるようにします。

- 2. 初期の HTTP ポートおよび TCP ポートの変更設定
 - ●システムのデフォルトの HTTP および TCP ポートを変更します。これらは、遠隔画像表示等の通信に使用される 2 つのポートです。
 - ●これらの2つのポートは、1025-65535の間の任意の番号に変更できます。初期設定のポートを回避することで、 第3者からの侵入リスクが軽減されます。
- 3. HTTPS/SSL を有効にする

HTTPS を有効にする SSL 証明書を設定します。これにより、デバイス間のすべての通信が暗号化されます。

4. IP フィルターを有効にする:

IP フィルターを有効にすると、指定された IP アドレスを持つユーザーのみシステムにアクセスできるようになります。

5. ONVIF パスワードの変更:

古い IP カメラのファームウェアでは、システムの資格情報を変更しても ONVIF パスワードは変更されません。カメラのファームウェアを最新版に更新するか、ONVIF パスワードを手動で変更する必要があります。

必要なポートのみを開放する:

- ●P2P接続はポートを開放する必要はありません。
- ●使用する必要がある HTTP ポートと TCP ポートのみを開放してください。
- ●個々のカメラが同じネットワーク上にあるデバイスに接続されている場合は、ポートを開放する必要はありません。

7. SmartPSS で自動ログインを無効にする:

SmartPSS を使用してシステムを表示し、複数のユーザーが使用するコンピュータで自動ログインを無効にすることをお勧めいたします。ログイン資格を持たないユーザーがシステムにアクセスできないように設定してください。

8. SmartPSS は使用者毎にユーザーID とパスワードを設定する:

第 3 者に映像を利用されない様、使用者毎にユーザーID とパスワードを設定してください。またソーシャルメディア、銀行、電子メールなどと同じアカウント、パスワードの設定をしないようにしてください。

9. ゲストアカウントの機能の制限:

複数のユーザーが 1 つのアカウントでシステムを共用する場合、必要性がある機能に制限して利用できるように設定する ことをお勧めいたします。

10. UPnP

- ●UPnP(Universal Plug and Play:ユニバーサルプラグアンドプレイの略)は、ルーターまたはモデムのようなネットワーク機器を自動認識し相互通信するための技術です。
- ●ルーター/モデムで HTTP および TCP ポートを手動で転送した場合、この機能はオフにしてください。この機能が実際に使用しない場合は、UPnP を無効にすることをお勧めします。

11. SNMP

SNMP(Simple Network Management Protocol)は、UDP/IP ベースのネットワーク監視、ネットワーク管理を行うためのプロトコルです。SNMP を使用していない場合は無効にしてください。SNMP を使用する場合は、トレースとテストの目的でのみ使用してください。

12. マルチキャスト

マルチキャストは、2 つのレコーダー間でビデオストリームを共有するために使用されます。現在、マルチキャストに関連する問題はありませんが、この機能を使用していない場合、非アクティブ化によりネットワークセキュリティを強化することができます。

13. ログの定期確認:

第3者がシステムに不正アクセスしたと思われる場合は、システムログを確認できます。システムログには、システムへのログインに使用された IP アドレスとアクセス情報が表示されます。

14. デバイスを簡単に操作できない場所に設置する:

不正な物理アクセスを防止するためには、デバイスを施錠可能なキャビネット等に収納することをお勧めいたします。

安全にお使いになる為に

次表にまとめた注意喚起語がマニュアル内に表現される場合があります。ご注意ください

記号	意味
A DANGER	死亡または重傷を招く可能性のある高い潜在的危険を示します。
WARNING	軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。
A CAUTION	物的損害、データ損失、パフォーマンス低下、または予測不能な結果 が生じる可能性のある潜在的なリスクを示します。

安全上のご注意

本体の適切な取り扱い、危険防止、および物的損害の防止について説明します。 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



DANGER

●工事は販売店に依頼してください

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。

●電源プラグのほこりなどは定期的にとってください

(プラグにほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。) ⇒電源プラグを抜き乾いた布で拭いてください。

●異常があるときは、すぐに使用をやめてください

(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。)

⇒放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

●電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜いてください

(コードが傷つき、火災や感電の原因となります。)

●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

(差込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。) ⇒傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



WARNING

●異物を入れないでください

(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

- ●不安定な場所に置かないでください(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)
- ●電源を入れたまま工事、配線をしないでください (火災や感電の原因となります。)
- 振動や強い衝撃を与えないでください(火災や感電の原因となります。)
- ■温気やほこりの多い場所に設置しないでください(火災や感電の原因となります。)
- ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしないでください (たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)
- ●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の 原因となります。) ⇒コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

- ●分解、改造をしないでください (火災や感電の原因となります。) ⇒ 修理や点検は、販売店に依頼してください。
- ●機器の上や周囲に水などの入った容器を置かないでください

(水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

- ●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください(感電の原因となります。)
- 雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れないでください (工事時を含む) (感電の原因となります。)
- ●通風孔をふさがないでください(内部に熱がこもり、火災の原因となります。)



CAUTION

【HDD について】

- HDD は精密機器です。衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。 振動・衝撃は HDD 故障の原因になります。
- ●HDD に記録された情報内容は、万一、消失しても故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしかねます。
- ●電源を入れたときや電源を切った直後(約 30 秒間)は、HDD が動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。
- ◆HDD の寿命は使用環境により異なりますが、消耗劣化する部品です。通電時間が 20,000 時間を超えると、 書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30,000 時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命となります。 (+25 ℃で使用時)

- ●大切なデータが壊れないように、機器の周辺温度を+25 ℃程度に保ち、20,000 時間を目安に交換することを お勧めします(ただし、この時間は目安であり寿命を保証するものではありません)
- ●HDD に異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。また、HDD の購入、交換は販売店にご相談ください。

【結露について】

結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。以下のような場合は、目安として電源を入れるまで 2 時間 程度放置してください。

- ●湿度の高いところ
- ●暖房した直後の部屋
- ●冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

【使用するモニターについて】

●モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

長時間使用しない場合機能に支障をきたす場合がありますので、1 週間に 1 回程度、電源を入れて画像を確認してください。

録画機 簡易操作マニュアル

【システムへのログイン】デバイスはマウスだけで操作を行います。文字入力はソフトウェアキーボードを使用します。

(1)マウス操作

基本の操作は右記の通りです。

左クリック選択、決定右クリックキャンセル

(2)ソフトウェアキーボード操作

パスワードなど文字入力が必要な場合



入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。



sdfghjkl:Enterzxcvbnm,.Shift

- (3)システムにログインするには画面上 にマウスのポインターを置き、右クリッ クします。
 - ◆右のメニューが表示されるので 「メインメニュー」をクリックします。



(4)「システムログイン」のポップアップメニュー が表示されます。

- ①「ユーザー名」を確認し、パターンを 入力してください。
- ②「ユーザー名」を切り替えたい場合は、 右下の「ユーザー切替」をクリックし、 ユーザーを選択してください。



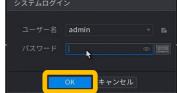
(5)「パスワード」にマウスポインターをあてクリックします。



注: パスワード入力を 5 回以上間違えると、そのユーザーは ロックされます。ロックされたユーザーは 5 分間、システム ログインできなくなります。ロックされた場合は、以下の 対応が必要です。

①5 分間待って、再度パスワードを入力する

②デバイスを再起動する



(7)ログインに成功すると メインメニューが表示 されます。

メインメニューを消去 するには、マウスを右 クリックします。



【システムへのログアウト】

(1)メニュー表示:画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの「メインメニュー」をクリックします。 画面右上のアイコンをクリックしてください。



(2)シャットダウンメニュー



以下の画面が表示されるので、必要な動作を実施します。

①ログアウト:現在のユーザーからログアウトします。

②再起動:機器が再起動します。※10分以上無操作の場合、自動でログアウトします。

③シャットダウン:機器の電源を停止します。

【ライブ映像確認】

(1)ライブ画面説明



- ①画面右上にレコーダーの時刻が表示されます。
- ②各カメラ画面左下に「カメラ名」とアイコンが表示されます。
 - 映像データを記録している時に表示されます。
 - ★ 動きを検知した時に表示されます
- かメラからの入力がない時に表示されます。

(2)デジタルズーム

拡大デジタルズームを行いたい箇所に、マウスのポインタ-を合わせて、スクロールホイールを回すと拡大/縮小され ます。右クリックで元の画面に戻ります。





スクロール ホイール

(3)画面表示切替

画面上で右クリックを行い、 表示させたいビューをクリックします。

	メインメニュー 検索	ᆜ
=	い°ン/チルト/ス゚ーム	
	ピュー1	
==	ビュー4	· E
100	ピュー8	
111	ピュー9	
T#	前燕燕	
E	次画面	
	手動	
□	プレビューモード	
9	色設定	
Ø	イメージ*	

-	
ビュー1	1 画表示をします。1ch~16ch から選択します。
ビュー4	4 分割表示をします。1ch~4ch 単位で選択します。
ビュー8	8 分割表示をします。1ch~8ch 単位で選択します。
ビュー9	9 分割表示をします。1ch~9ch 単位で選択します。
ビュー16	16 分割表示をします。1ch~16ch 単位で選択します。

(4)PTZ カメラ操作

操作したい画面を表示して右クリックを 行い、「メニュー」を表示させ、 「パン/チルト/ズーム」をクリックします。

※PTZ カメラ、電動バリフォーカルカメラのみ使用可。





- ①PTZ カメラのレンズ向きを 操作できます。
- ②移動速度を変更できます。
- ③ズームを実行できます。
- ④フォーカスを変更できます。
- ⑤ピントを調節できます

【映像検索·再生】

(1)メニュー表示

画面上で右クリックを行い、ポップアップ メニューの「メインメニュー」をクリックします。



(2)検索画面表示 メインメニュー画面から 「検索再生」をクリック します。



(3)日付検索、カメラ指定

「検索」をクリックすると、下の検索画面が表示されます。



検索する日付と、表示するカメラを選択します。

- ①検索する年と月を選択します。 ②検索する日付を選択します。
- チャンネル名
 (1カメラ 1 M
 (3) (4)
- ③再生するチャンネルを選択し回する と、選択した順番で再生されます。
- ④メイン/サブストリームで再生するか を選択します。

(4)時間指定

画面下のタイムバーから、検索したい時間をクリックします。



時間を指定すると再生が開始されます。

タイムバーユニットをクリックする事で、時間尺が変更され 検索時間の精度を上げて映像確認し易くなります。



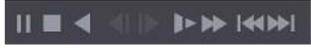
- ●24hr=24 時間表示 ●2hr=2 時間表示
- ●1hr=1 時間表示 ●30min=30 分表

(5)再生画面操作



「停止」ボタンをクリックし、日時を再指定してください。

- ①全画面ボタンをクリックすると、全画面表示が出来ます。 ※右クリックで戻ります。
 - (S (S 20t) (S 20t) (S 20t) (S 20t)
- ②1 画面表示をしたい画像上で、マウスをダブルクリックする と 1 画面表示が出来ます。
- ③ライブ映像と同じ手順でデジタルズームが可能です。
- ④再生制御ボタンの操作は以下の通りです。



一時停止 | 停止 | 逆再生 | 前フレーム | 次フレーム | スロー再生 | 高速再生 | 前日 | 翌日

②検索画面を終了する場合 「高速」: x2 - マウスを右クリックしてください。 「スロー」: 1/2

「高速」: $x2 \to x4 \to x8 \to x16$ の 4 段階の切り替えが可能。 「スロー」: $1/2 \to 1/4 \to 1/8 \to 1/16$ の 4 段階の切り替えが可能。

【記録データバックアップ】

(1)バックアップ画面表示

USB メモリを接続してください。

USB メモリを接続すると、右の画面が表示されます。

「ファイルバックアップ」をクリックしてください。



(2)バックアップ操作 I

【時間単位のバックアップ操作】



【共诵】

①デバイスに USB が認識され、メモリの容量が表示されている事を確認して下さい。

【時間単位検索】

- ②バックアップの設定
 - ●バックアップするチャンネル番号を設定します。
 - ●バックアップする映像の開始時間を設定します。
 - ●バックアップする映像の終了時間を設定します。
- ※出力する録画データ量は、1 回/1 時間程度を推奨します。長時間の抽出は デバイスの動作が不安定になる場合があります。
- ③バックアップするファイル形式を設定します。→ DAV を選択

(3)バックアップ終了



- ④設定が完了したら「検索」をクリック 検索が完了すると、検索条件に一致するデータが表示 されます。
- ⑤バックアップファイル指定 必要なバックアップ対象のデータのチェックボックスに「∨」を 入れてください。必要な容量および残容量が自動的に計算 されます。
- ⑥バックアップの実行「バックアップ」ボタンをクリックすると、処理が開始されます。

(4)バックアップ操作Ⅱ

【再生画面から指定時間バックアップ操作】

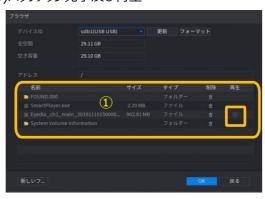


【指定時間バックアップ】※バックアップしたい時間/分が分かっている場合、 簡単な操作となります。



- ①バックアップ開始時間をタイムバーにクリックし「ア」、「イ」 の そをクリックすると「ウ」に開始時刻が表示されます。
- ②バックアップ終了時間をタイムバーにクリックし、 をクリック すると「エ」に終了時刻時間が表示されます。
- ③「オ」の 🔲 をクリックすると次のブラウザが表示されます。

(5)バックアップ完了及び再生



- ①バックアップが完了すると、USB メモリ内のファイルが表示され、PC に接続しなくてもバックアップデータを再生することができます。
- ②画像の再生には PC に USB を差し込み、USB 内「SmartPlayer」を ダブルクリックしてください。



③I SmartPleyer」の 左タスクバー内にある画像データを ダブルクリックすると再生されます。



◎DMSS 簡易操作マニュアル



(※以前の pides) iDMSS/gDMSS をお使いの方も、新しい アプリに変更お願います。)



【ダウンロード方法】

iOS の方は APP ストア、Andloid の方は PLAY ストアから「DMSS」を ダウンロードしてください。



【デバイス登録】(QRコード登録)

(1) デバイスの登録

【ホーム画面】を参照し、ホーム画面を表示してください。

①デバイス追加画面

ホーム画面の右上にある(①)ボタンをクリックしてください。

②XDR 本体の「メインメニュー」右上の「QR」ボタンを選択。 「機器 S/N」の QR コードを枠の中に入るように撮影します。







(2)デバイス登録

②種類選択

①シリアル確認

「次へ」をタップする。

接続するデバイスを一覧からタッチし選択します。

※Eyedia シリーズ⇒「DVR/XVR」を選択してください。

注)接続するデバイスのアイコンを必ず選択してください。







(3)デバイス情報設定

①デバイス情報入力

デバイスの情報を入力してください。

デバイス名: DMSS に登録する名前(任意)

ユーザー名:録画機の使用者 ID

パスワード:上記のパスワード

②デバイス情報の保存

「SAVE lをタップすると設定情報が保存され、ライブ映像が 表示されます。またホーム画面にサムネイルが作成されます。



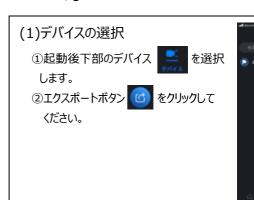




【データの移行】

既に iDMSS/gDMSS をインストールされている方は登録した録画機のデータを新アプリ「DMSS」へ移行することができます。

16:01 デバイスマネージャ 🎖



(2)デバイスカードの作成

- ①移行したい**デバイスを選択し**、「デバイス カードを作成します」をクリックしてください。
- ②「機器導入用デバイスカードのパスワードを 入力しますか」でキャンセルと Yes を選択 できます。キャンセルを押すとパスワードなし でのデータ移行になります。



(3)QR コードの保存

- ①選択したデバイスの設定状況を QR コードで表示します。
- ②右上にある保存ボタンを押すと 写真として保存されます。



(4)インポート

- ①新 DMSS を開きます。
- ホーム画面の右上にある ① ボタンを クリックし、「S/N スキャン」を選択してく ださい。
- ②QR 読み取り画面が立ち上がり、右上から保存した QR コードの写真を選択すると設定を自動的に反映します。 写真として保存されます。



※設定移行後、右図のような初期画像が表示されることがあります。 登録した画像を開くと初期画面からカメラ画面へ変更されます。





【ホーム画面】

(1)ホーム画面

左上に (<)のアイコンがある場合、のアイコンをタップすると、ホーム画面に移動します。

※ホームボタンはバージョン等により位置が異なる場合があります。







【ライブビュー表示】 ※映像を表示する為には、デバイスがオンラインになっている事が必要です。

(1)DMSS 起動、デバイスの選択 起動後はホーム画面が表示されます。 ください。

(2)デバイスの選択

- ①サムネイルに表示されているカメラ画像 をタップするとライブ画像が表示されます。
- ②全てのチャンネルを表示する場合は、
- 「▶すべて」を選択してください。



(3)映像の表示

指定デバイスのライブ映像が表示されます。

①画面切替

表示したい画面をダブルタップすると 1 画面。 再度のダブルタップで、4 画面に戻ります。

- ②音声出力(マイク付きカメラのみ) 表示したい画面を選択し、このボタンをタップ すると音声が出力されます。
- ③ライブビュー停止 このボタンをタップすると、映像が停止します。



(4)PTZ 操作

※PTZ カメラのチャンネルを選択して下さい。

①PTZ カメラを選択して、「 ¥」ボタンを 押し、コマンドボタンを出して下さい。

- ②PTZ 操作画面に移行。以下の操作ができるようになります。
 - ●ズーム③:



④ 縮小

●パン/チルト④:上下左右







【録画再生】

(1)録画再生画面の表示

【ホーム画面】を参照し、ホーム画面を表示してください。

①ビデオ画面表示

ホーム画面から「🧶 」をクリックしてください。

②録画機の選択

ビデオ画面右上から「三」をクリックしてください。

③カメラの選択、

画像を見たいカメラ番号を選択、「再生が始まります」をクリックして下さい。 (※インターネット回線の容量により再生が失敗する場合があります。 再生するカメラの台数を減らし調整下さい。





(2) 再生時間設定

①日時設定

中段にある日付をタップしてカレンダーを表示します。

②再生日/録画タイプ選択

再生する日付と録画タイプを選択します。

録画データがある場合には、カレンダー内日付に「 ● 」 が表示されます。選択し、「OK Iを押して下さい。

③再生時間変更

バーをスライドさせ、再生時間を変更してください。

④表示時間変更

拡大したい時間を2本の指で広げると、表示時間の間隔が 拡大されます。逆に狭めると、表示時間の間隔が縮小表示 されます。



【録画タイム選択】

●オール

録画設定に関係なくすべての 画像データを検索できます。

●通常

録画設定にて「通常」録画されている画像から検索できま

●アラーム

録画設定で「アラーム」設定されている箇所を選択できま

●スマート録画

録画設定で「Smart 設定」 されている箇所を選択できま す

SmartPSS 簡易操作マニュアル

【SmartPSS 概要】

SmartPSS は、Smart Professional Surveillance System の略です。このソフトウェアは、複数のセキュリティ監視デバイスを管理することができます。

【SmartPSS 特徴】

- ●カメラチャンネルのリアルタイムビデオを表示します。
- ●さまざまなカメラからの再生ビデオファイルを表示します。
- ●複数のスケジュール管理をサポートします。
- ●Emap機能はすべてのカメラ位置を明確に表示および管理できます。
- ●ビデオウォールプレビュー機能。
- ●人数とヒートマップ機能。
- ●口グを検索してエクスポートします。



【デバイスオンライン】映像を表示させるためにはデバイスのオンライン操作になっていることが必要です。

(1)SmartPSS 起動
「デバイス」をクリックしてください。

(2)デバイスオンライン
①映像を参照したいデバイスの をクリックしてください
②オンラインにすると、表示が「オンライン」に変更されます。

【ライブビュー映像表示】

(1)SmartPSS 起動 「ライブビュー」をクリックしてください。



(2)ライブビュー

- ①オンライン化したデバイスを選択し、右側ビューにドラッグ するとライブ映像が表示されます。
- ※ が表示されたデバイスはオフラインです。ドラッグ しても映像は表示されません。



(3)PTZ カメラ操作

画面左下の「PTZ」をクリックすると、右画面の様なタブが開きます。PTZ/モータライズ/電動バリフォーカルのカメラを使用している場合、右のメニューからカメラを動かすことができます。

※ご使用のカメラにより、異なる画面が表示されます。



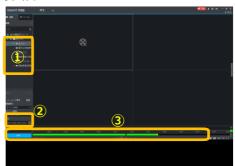
- ①PTZ カメラのレンズ向きを操作 できます。
- ②移動速度の変更ができます。
- ③ズームを実行できます。
- ④フォーカスを変更できます。
- ⑤ピントを調節できます。

【録画再生】

(1)SmartPSS 起動 「再生」をクリックしてください。



(2)録画再生



- ①録画再生するデバイスを選択
- ②検索時間を設定(24時間以内)

上段:検索開始時間 下段:検索終了時間

③検索ボタンをクリックすると、録画データの検索開始



同期再生、逆順再生、再生/一時停止、停止

④検索結果表示

録画データが存在すると画面下部のタイムバーに、緑色のバーで 録画されている時間が表示されます。

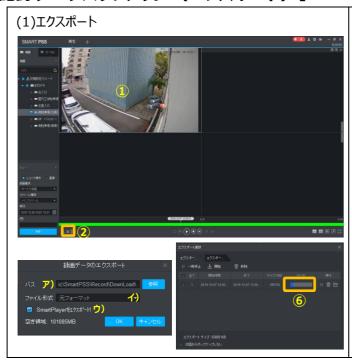


タイムバーの上でマウスのホイールを回転すると、時間表示の幅を変更することができます。(24 時間⇔分単位)。タイムバーをドラッグすると、表示する時間を動かすことができます。



- ⑤タイムバーの時間をクリックすると、再生が開始されます。
 - 再生データがあるチャンネルは、チャンネル順に のアイコンが表示されます。 画面を選択、 再生ボタンを押してください。
 - ※複数のビューを同期して再生したい場合、 また をクリックすると、他のチャンネルと 再生時刻が同期されます。

【記録データバックアップ(エクスポート)】



- ①再生中のウインドウをクリックします。
- ②エクスポートを開始する時間で、 アイコンをクリックして ください。
- ③タイムバーに赤い時間枠が表示されます。赤い枠をドラッグ してエクスポートする時間を調整してください。



- ④時間が決まったら、もう一度 をクリックしてください。
- ⑤「録画データのエクスポート」が表示されます。
 - ア) ファイルを出力するパスを設定します。
 - イ)ファイル形式を選択します。(ASF/AVI/MP4/元フォーマット) ※推奨 元フォーマット
 - ウ) ☑すると「SmartPlayer」がコピーされます。
 - ※オリジナル形式選択時のみコピーが可能です。
 - エ)「OK」をクリックしてください。
- ⑥以下の画面が表示され、エクスポートが開始されます。 ステータスが 100%になればエクスポートは終了です。

【P2P デバイス登録】

(1)デバイス画面表示

①メインメニューから「デバイス」をクリックしてください。



(2)デバイス検索

+ 追加 をクリックしてください。



(3)デバイス情報設定

①デバイス情報入力

デバイスの情報を入力して下さい。

チャンネル名: SmartPSS に登録する名前(任意)

登録モード : SN(P2P 対応デバイス向け)に変更

SN:デバイスのシリアル番号(英語大文字)

ユーザー名 : デバイスのユーザー名 パスワード : 上記のパスワード

②「追加」をクリックしてください。



【Eyedia 製品操作手順について】

弊社ホームページに、より詳細な手順や、操作に関する FAQ を 掲載しております。詳細はホームページにてご確認ください。

Https://www.medium-japan.com

